

堤防整備を行うとともに、水位をより低くするためにダム操作規則変更やダム建設等の対策を実施。

①緊急的対応

河川（国・県）

- ・ 予備費による樹木伐採、河道掘削
- ・ 野村ダム下流などの土砂堆積部の河道掘削
- ・ 暫定堤かさ上げ (+0.7m)

野村ダム

- ・ 事前放流 (600万m³を確保)
- ・ 洪水貯留準備水位の更なる低下

野村ダム、鹿野川ダムの放流警報

- ・ 新たな放流警報手法 (試行開始)

<2019年~>

鹿野川ダム改造により増大した容量の有効活用

- ・ 野村ダム操作規則変更
- ・ 鹿野川ダム操作規則変更

②概ね5年後

平成30年7月洪水を越水させない

下流河川（国・県）

- ・ 激特事業による堤防整備、暫定堤防のかさ上げなど

野村ダム下流など

- ・ 河道掘削などの対策を実施

激特事業による流下能力向上により可能となるダム操作規則の変更

- ・ 野村ダム操作規則変更
- ・ 鹿野川ダム操作規則変更

③概ね10年後

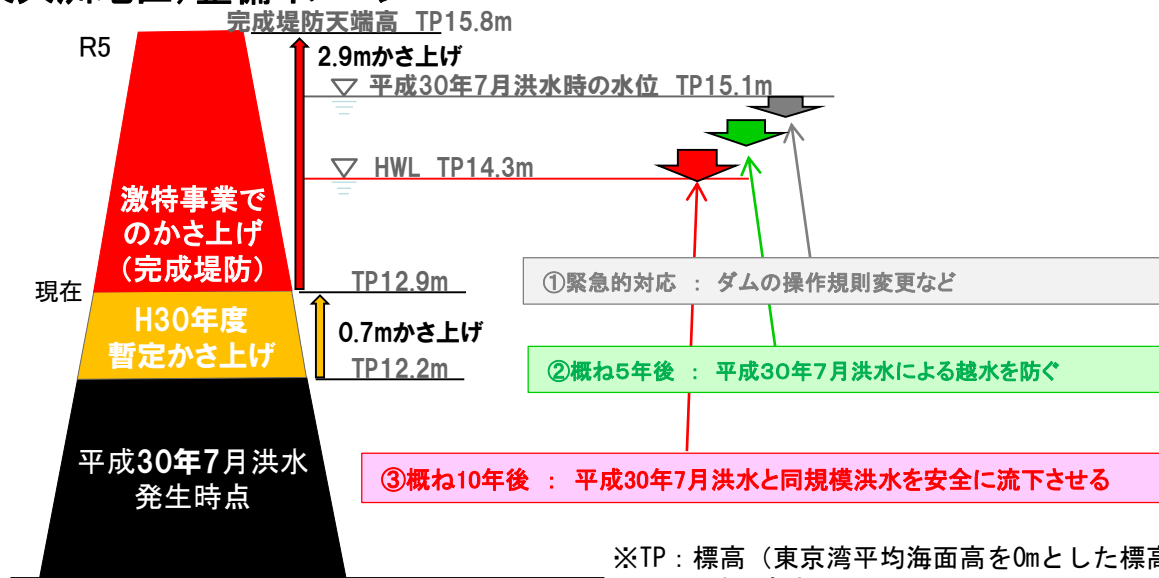
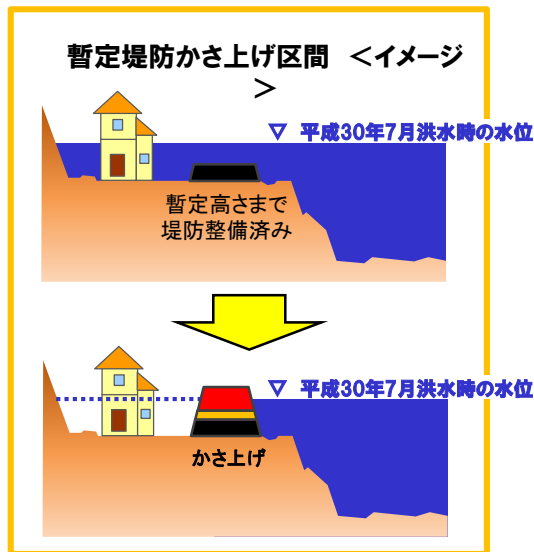
平成30年7月洪水と同規模を安全に流下させる

更なる河川整備等

山鳥坂ダム完成
(2032年完成)

野村ダム改良完成

暫定堤防(東大洲地区)整備イメージ



※TP : 標高 (東京湾平均海面高を0mとした標高)
 ※HWL : 計画高水位